

横浜市中区弁天通4-52
電話:045-201-1151
メール:yokohama@tokyo-np.co.jp

横須賀支局

046-822-0126

伊野ビル3階
044-245-9514

鎌 0467-25-1220
藤 0466-28-8359
平 0463-33-7477
小 0465-32-1272
田 042-752-3377
相 046-222-4500
模 044-966-8908
厚 044-733-0750
麻 生 原

購読のお申し込み
0120-026-999

広告のご用命
045-201-1155

金沢・柴港

日本料理 桔梗亭

四季折々の
素材が彩る
懐石料理

シーサイドライン「海の公園柴口」下車 TEL045(785)0901

横浜

「焼け野原」に 花を咲かせる

店主ら「明るく頑張る姿見せたい」



再建に向け、焼け跡に花を並べる商店街の人たち「磯子区で

無償で提供した。
山川さんは言う。「理事長のうなぎ屋も焼けたのに、自分より商店街全体ののことを考えてくれる。こっちも頑張らなきゃって思っじゃない」
花鉢は、同じく被災し

たタコ焼き店のスタッフら約十人が植え替えた。この店は、いわゆる二ト(若年無業者)を受け入れ、就労支援に取り組んでいる。今年一月に開店し、軌道に乗り始めた矢先の不審火。だが、彼

らの顔は明るい。スタッフの福島竜さん(三)は「店をやるだけでは経験できないふれあいを見せてもらっている。今後商店街の人たちと一緒に前を向いてやっていきたい」と充実した表

情をみせた。小島理事長は言う。「一日も早い再建に向けてみんな頑張っている。ぜひ応援に来てくださーい」。近く、いくつかの店でプレハブでの仮設営業を始める予定という。

「焼け野原のままじゃしょうがないでしょ。花でも置いて、きれいにし

風

未明の不審火で店舗や住宅など計十七軒が全焼した横浜市磯子区久木町の老舗商店街「浜マーケット」が、再建に向け新たな一歩を踏み出した。十六日、店主らが店舗跡や通路に花や植木鉢を並べた。これまで閉鎖していた商店街の入り口も開放。灰色の焼け跡を彩る花に、店主らは「花のように明るく頑張る姿を見せたい」と前を向いた。(石川智規)

四月二十七日の火災で、三十五店舗中十七軒の商店や住居が焼けた。がれきや焼け朽ちた骨組みを、各地から駆け付けたボランティアや近隣の人たちが片付けた。今ではがれきの山もすっかりきれいに。この日、晴れて封鎖解除となった。「店はないけど、せっかく通れるなら、見て楽しい通路にしたい」。小島理事長の発案で、片付いた店舗跡に花を並べることに。火災で店舗が半焼した生花店の山川るみ子さん(六)は「ボランティアや義援金でここまで片付いた。その感謝の気持ち」と、五十個の花鉢と店に残った観葉植物を

17軒全焼「浜マーケット」復興へ一歩